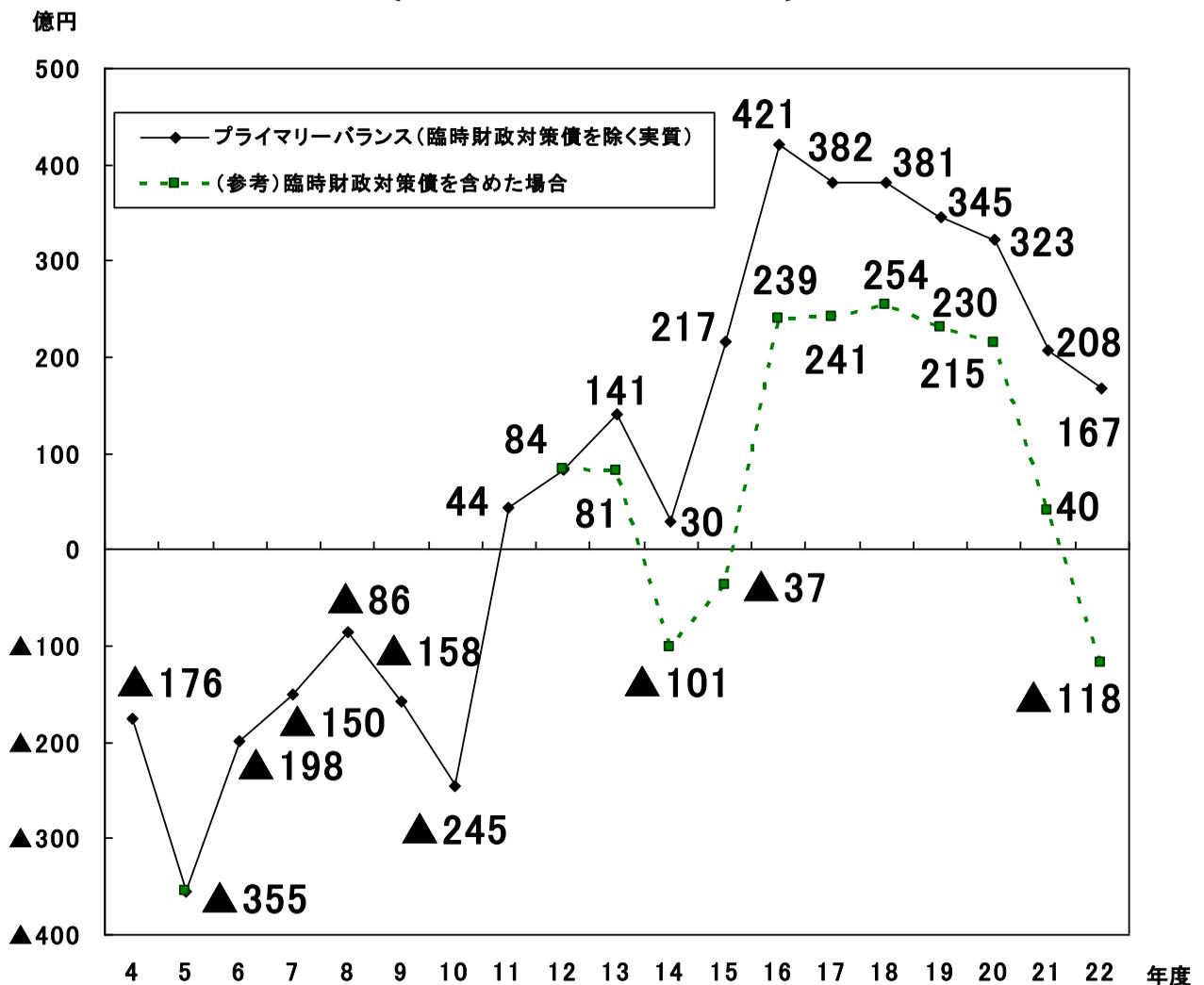


IV プライマリーバランス

- プライマリーバランスは、公債費以外の歳出が、市債以外の歳入で賄われているかどうかを見るものであり、世代間の受益と負担の関係を表す指標です。
- プライマリーバランスが赤字の場合は、現世代が自らの負担を超えた行政サービスを受享受し、将来の世代に負担を転嫁することになります。
- 本市において、臨時財政対策債（注）を公債収入から除いた実質のプライマリーバランスは、平成11年度以降黒字を確保しています。

（注）臨時財政対策債とは、国において地方交付税を配分するための財源が不足する場合に、地方交付税に代えて発行が認められている地方債であり、発行額は法令で定められ、償還時に全額が地方交付税で措置されます。平成22年度は、地方交付税の原資となる国税収入の大幅な減少に対応して、国の地方財政対策において臨時財政対策債が大幅に増額されています。

〔国① 5兆1,486億円②7兆7,069億円〕
〔市①2月補正後 168億円② 285億円〕



※ 20年度までは決算ベース、21年度は2月補正後ベース、22年度は当初予算ベース

※ プライマリーバランス＝(歳入－公債収入)－(歳出－公債費)